

平成 30 年度デーノタメ遺跡内容確認調査について

1 調査目的

デーノタメ遺跡では、これまでの調査によって台地上で縄文中期から後期の
竪穴住居跡や遺物が稠密に確認され、大規模な集落が広がっていることが確認
された。また、低地に所在する低湿地遺跡では、土器・石器に加え、豊富な植物
遺体等が出土し、ここが当時の生業や儀礼にかかる水辺空間であることが明ら
かとなった。

しかし、台地と低地の間に位置する低位面（テラス面）では、トレンチ法によ
る数回の試掘調査によって、ここが遺構・遺物の密度が非常に薄い地点であるこ
とが明らかとなっており、台地や低地に比べ具体的な利用状況が不明であった。

そこで今回は、面的に調査をすることによって、改めてこの低位面（テラス面）
の利用状況を明らかにすることを調査の目的とする。

2 調査期間 平成 30 年 10 月 15 日から 11 月 16 日

3 調査対象地 北本市下石戸下

4 調査面積 ①600 m² (20m×30m)
②400 m² (20m×20m)

5 調査方法 1 辺 5m のグリッド調査（市松模様に掘削予定。）

6 調査方針

遺構確認面まで重機で掘り下げ、その後人力で遺構・遺物の分布を把握する。
包含層は人力で掘り下げるが、遺物が出土しなければ確認面まで重機で掘り
下げる。遺構が確認された場合、必要に応じてグリッドを広げる。

また、適宜土壌サンプル（柱状サンプル、ブロック状サンプル）を採取する。

7 その他 本内容確認調査は、国庫及び県費の補助対象事業である。